

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	生活支援センターつくも		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広いスペース(体育館や園庭)を使って、身体を使った遊びや活動ができること。	身体を動かす活動を行う一方で、お絵描きやパズルなど落ち着いた活動をしたい子に対しては、ベンチやパーテーションを使って空間を区切る工夫を行っている。	遊びの内容を充実させ、活動の幅を広げていく。
2	子ども一人ひとりの状態に合わせた支援を行っていること。	活動の参加を子どもの心身の状態に合わせ、無理のない形で促したり、活動内容の個別に工夫した形で展開している。	保護者や学校との連携を深めていくことで、さらなる子どもの状態像の把握と子どもが安心できる支援の提供に努めていく。
3	学校の早帰りや休校日に対して、延長支援を実施してご家族に対する支援を行っている。	就労やレスパイトなど理由を問わず、延長支援を行っている。	曜日ごとに利用日は決まっているが、家庭ごとに緊急時等の利用相談には受け付けて適切な支援を行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	駐車場から活動場所までの距離があり、歩きにくさを感じている方もいる。	敷地内の樹木の根が張り出して、道に段差ができてしまっている。	今年度、道の段差等が分かりやすくなるようにライト等を設置したが、さらに歩きやすくするための工夫を検討していく。
2	活動内容や非常災害時の動きなど詳しく知りたいという家庭からの意見があった。	お迎え時や広報紙を通じて伝えてはいるが、不十分な面があったと考えられる。	より丁寧にご家庭に伝える意識をもって、ご家庭とのコミュニケーションを図っていく。
3	保護者同士の交流の場がほしいという意見があった。	放課後等デイサービスの支援時間内は児童の支援をすることで精いっぱい保護者の対応まで難しいため、交流の場を設定することが難しい現状にある。	保護者の中でも交流の場を求める声が多くなれば、機会の設定等を検討していく。